

北薩地区フレッシュ研修（宿泊研修）

（平成30年7月24日（火）～27日（金））

1 目的

様々な体験活動を通して初任者の相互交流を深め、資質の向上を図るとともに、職責観と教育公務員としての自覚を高める。

2 会場

薩摩川内市立少年自然の家
県立鶴翔高等学校

3 参加者数

北薩地区小・中・高等学校初任者研修対象者 29人

4 活動の様子



開会行事

薩摩川内市立少年自然の家

オリエンテーション

～寝具の準備～



心肺蘇生法の理論と実技

講師：薩摩川内市消防局員



他校種参観：食品加工実習（ブルーベリージャムづくり）
県立鶴翔高等学校



他校種参観：食品加工実習（パンづくり）
県立鶴翔高等学校



他校種参観：農業体験実習（土づくり・花づくり）
県立鶴翔高等学校



他校種参観：農業体験実習（草刈り機の使い方）
県立鶴翔高等学校



他校種参観：試食（ブルーベリージャムとパン）
県立鶴翔高等学校



他校種参観：閉会式会場校へお礼の挨拶（初任者代表）
県立鶴翔高等学校



集団行動の基本的な考え方と実技

講師:北薩教育事務所 田丸武彦 指導主事



講話

北薩教育事務所 木之下浩一 所長

社会教育の充実

講師:北薩教育事務所 岩屋芳文 指導主事



野外活動の講義と実際：テント設営



野外活動の講義と実際：野外炊飯



灯火のつどい（屋内）



グループ協議：鹿児島島の未来を考える



グループ協議：全体発表会



閉会行事：初任者代表挨拶

閉会行事：記念撮影

【参加者の感想】

- 校種の違う初任者同士で協力して何かをやり遂げた喜びや達成感は、決して自分一人だけでは味わうことはできなかったと思う。
- 学校での悩みや情熱を語り合えたこの4日間はとても幸せな時間であったし、更に同期の絆を深めることができた。
- 次世代を担う子供たちに鹿児島の魅力をいかに伝えていくかという私たちの課題を改めて感じた。
- 農業体験では、収穫の作業から体験させていただき、作り手の思いを考える機会となった。
- 自分が担任している子供たちが将来、鶴翔高校の生徒のようにきらきらと輝いて過ごせるように、今、自分ができることは何だろうと、もう一度自分に問いかけたい。(農業体験を終えて)

